

海山や海洋プレートだった石

岩石名

緑色岩（玄武岩） Green rock (Basalt)
（りょくしょくがん）

時代 中生代白亜紀前期

地質区分 イドンナップ帯

産出地 剣淵町弥栄川



緑色岩の薄片写真



解説

南洋から移動してきた海洋プレート



剣淵町弥栄川の緑色岩

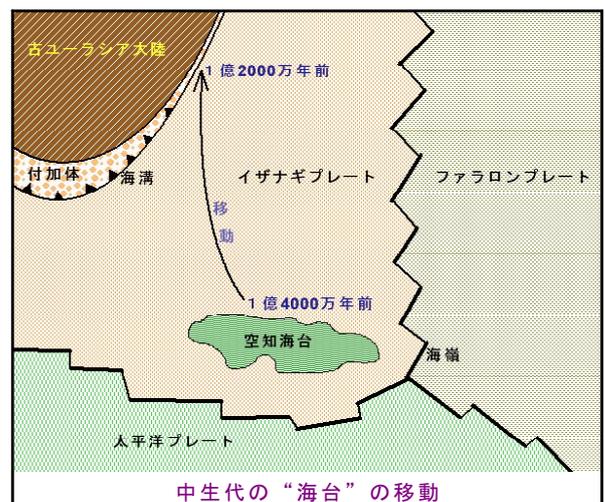
この岩石は、もともとは中生代に海洋プレートをつくっていた玄武岩です。海洋プレートを構成する玄武岩が低温低圧の変成作用を受け、緑色に変質したものです。変成作用によって、玄

武岩の中の鉱物が緑泥石やアクチノ閃石、緑れん石などの緑色の鉱物に変化したため、全体に緑色になったのです。こうした岩石を緑色岩と呼びます。

剣淵町弥栄川には、中生代の海山（ハワイのような南の海の火山）をつくっていた玄武岩（緑色岩）があります。道路沿いの露頭では玄武岩の溶岩に取り込まれた石灰岩や、陸地起源と思われる砂岩も見られます。

士別市温根別五線川にも緑色岩が見られますが、こちらは海山ではなく、「海台」という大きくふくらんだ海洋プレートだったもので、中生代ジュラ紀に南洋

の海底でプレート内の火成活動が発生して形成された海台であり、1億年以上かけて北上してきて付加したものであるといわれています。



調べてみよう

○ いろいろな岩石を手で持ち上げて重さを実感してみよう。玄武岩は、ほかの岩石よりも重いです。